

市民(みんな)の「安全・安心」の拠点として

利用しやすく親しみのある庁舎

新庁舎完成

9月2日から順次業務開始



■問い合わせ 庁舎建設室 Tel: 23-1197

市長あいさし

このたび、新庁舎が完成し、9月2日(月)に開庁します。現庁舎は築後56年以上が経過し、施設の老朽化や耐震性の不足、省エネルギー対策やIT化への未対応、行政機能の分散化による市民の利便性低下などの課題がありました。また、震度5以上の地震で倒壊の恐れがあり、市民の安全・安心を守る拠点としては脆弱であることから、改築することとしたものです。

新庁舎は免震構造を採用し、大地震発生時にも直ちに業務が再開できる十分な防災機能を備えた施設とした上に、建物の構造は木造と鉄筋コンクリート造のハイブリット構造で、木構造部材にはすべて長門市産材を使用しており、延床面積が7千㎡を超える木造庁舎としては国内初の取組となります。

また、来庁者の動線に配慮したフロアストップ型窓口サービスによる利便性の向上や市民の皆さんが利用しやすいユニバーサルデザインの採用、賑わいの場として活用していただける市民広場、交流ロビーなど親しみのある庁舎となっています。

新庁舎の開庁を機に、より一層質の高い市民サービスの実現を目指し、職員一丸となって市民の皆さんの期待に応えられるよう努めてまいります。

大西倉雄



▲吹き抜けやオープンなフロア構成



▲木造と鉄筋コンクリート造のハイブリット構造

新庁舎の特長

①市民の暮らしを守る

新庁舎は、あらゆる災害の対策拠点として、被災直後から業務を再開できるように、免震構造を採用しています。また、3日間程度の停電に対応した非常用発電設備を導入しています。

②利用しやすく親しめる

新庁舎は間仕切りのないオープンなフロア構成を基本としています。また、可変性のあるカウンターやサインを採用し、機構改革などによるレイアウト変更にも柔軟に対応できます。

③人にやさしい

市民利用の多い窓口関係部門を1・2階に配置し、相談室やブース型カウンターを設置するなど、来庁者のプライバシーに配慮しています。また、1階には市民が気軽に立ち寄れる市民ロビーを設置、多目的トイレは1階に2カ所、2・5階に各1カ所設置し、授乳室、キッズスペースも設けています。

④ICT化に対応

窓口業務を円滑に進めるため、タブレット端末を活用した申請書支援システムや番号案内発券機を1階待合ロビーに設置します。

⑥「ながと」らしさを体現する市民広場

新庁舎前の市民広場は、長門市の自然や文化、産業技術を表現した「ながと」らしい空間となっています。

⑤環境に配慮

建物中央のエコボイドから自然光を取り入れるとともに、免震層の空気を空調熱源に取り入れるなど、維持管理コストや環境に配慮しています。また、新庁舎は長門市産材を活用した木構造であることから、断熱性・調湿性に優れ、木の温もりを感じることができま



▲免震構造を採用し、最高水準の耐震性能を確保。災害から庁舎を守る



▲平常時は会議室として、災害時は災害対策本部として機能



▲見やすくわかりやすく、可変性のあるサイン



▲各課の窓口が見渡せる間仕切りのないオープンフロア構成



▲多目的に使用できるトイレを4カ所設置



▲プライバシーに配慮したブース型カウンター



▲エコボイドから自然光を取り入れる



▲金子みすゞの詩が刻印されたガラスアート



▲柵田をイメージした左官仕上げのベンチなど長門のアイデンティティを感じる空間



▲左官の技術を取り入れた版築ブロック

庁舎概要

地域産業を活かす「大規模木造庁舎と地方創生」

新庁舎見学会

所在地 東深川1339番地2

建築面積 1,775.87㎡

延床面積・構造

・新庁舎棟 6,830.13㎡

木造+RC造(免震構造)

地上5階建

・エントランス棟 224.29㎡

木造+RC造(耐震構造)

平屋建

業務開始日

9/2(月)

総合窓口課・高齢福祉課・地域福祉課・会計課・子育て支援課・市民活動推進課・税務課・企画政策課・総務課・議事事務局

9/17(火)

都市建設課・建築住宅課・上下水道局(管理課・施設整備課)・農業委員会・農林課・商工水産課・成長戦略推進課・財政課・防災危機管理課

9/24(火)

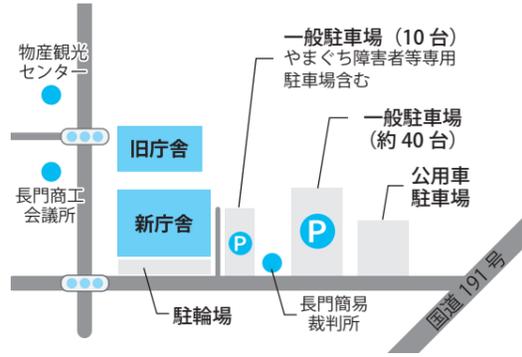
生涯学習スポーツ振興課・学校教育課・教育総務課
※監査委員事務局は9月24日(火)から長門市中央公民館の1階

で業務を行います

※生涯学習スポーツ振興課文化財保護室はしばらくの間、移転しません

駐車場位置図

新庁舎に移転終了後、旧庁舎を解体して駐車場を整備します。すべての工事完了は令和2年6月末を予定していますので、来庁者の駐車場は、法蓮寺前駐車場を利用ください。また、新庁舎東側にやまぐち障害者等専用駐車場を含む駐車場も用意しています。



新庁舎は、木造と鉄筋コンクリート造のハイブリット構造で、木構造部材はすべて長門市産材を使用しており、延床面積が7千㎡を超える木造庁舎としては、国内初の建築物となりました。

平成25年度から取り組んできた「ながと成長戦略」の中で、豊富な地域資源を活かした事業の創出として、地域の約75%を占める森林資源を活かす「林業・木材産業の振興」を目標に掲げています。

市内の公共施設の建設に、木材の需要拡大を図ったり、地元産材の活用を図る「木育」を推進し、推進拠点施設として長門おもちゃ美術館をオープンするなど、林業成長産業化の取



▲長門おもちゃ美術館など木育の普及も進む

組が進んでいます。

新庁舎も地元産木材を積極的に使用する方針を採用し、耐火木構造部材の採用など、さまざまな課題を先進的な技術や地元創意工夫を駆使して、クリアしました。

この取組が木造庁舎建設の先進的なモデルプロジェクトとして全国から注目を集め、2月に開催された「長門市本庁舎工事構想見学会」には、全国から建設関係者や自治体関係者ら約730人が参加しました。

完成した新庁舎は、大きな梁が印象的な木架構現しの室内空間のほか、内装やインテリアの木質化が図られており、地方創生として地域の林業・木材産業の振興に大きな役割を果たしています。



▲構想見学会には全国から多くの参加があった

完成したばかりの新庁舎を自由に見学できる見学会を開催します。

日時 9/8(日) 8時30分～16時

場所 市役所本庁舎

内容 新庁舎内の見学・萩焼深川窯作家により制作された萩焼陶壁の除幕(8時30分)

※申込不要

※駐車場に限りがありますので、来庁の際は一般駐車場か山口県漁協湊支店駐車場をご利用ください。

不要な物品の販売

新庁舎への移転に伴い不要となった庁用物品(机、収納庫、椅子など)を販売します。

日時 9/28(土)、29(日) 9:00～15:00

場所 市役所本庁舎(旧庁舎)

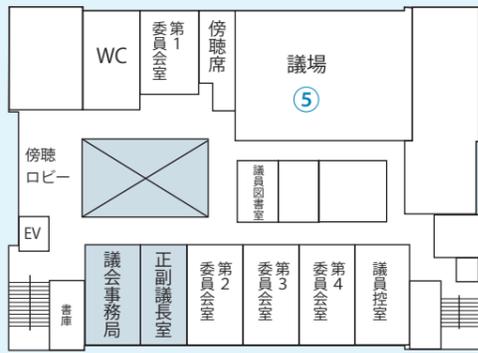
対象 市民・市内事業者

問い合わせ 総務課庁舎建設室

Tel.23-1197

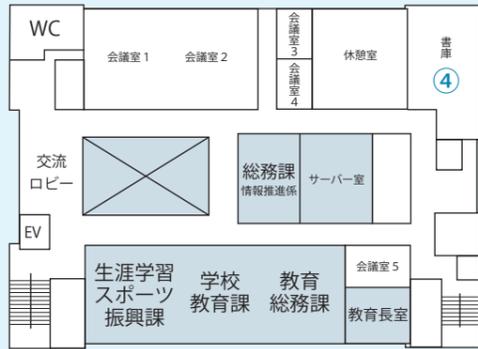
フロア案内

5F



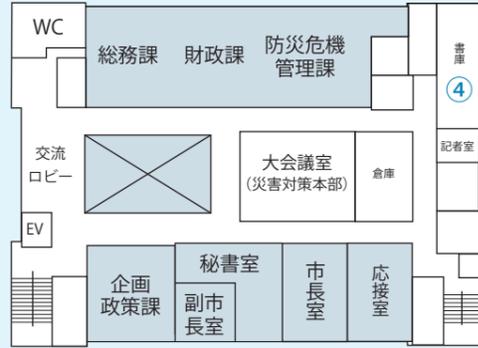
⑤傍聴席を設けた開かれた議場

4F



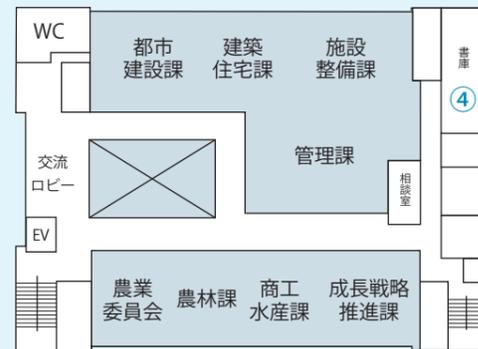
④公文書などを保管する可動式の書庫

3F



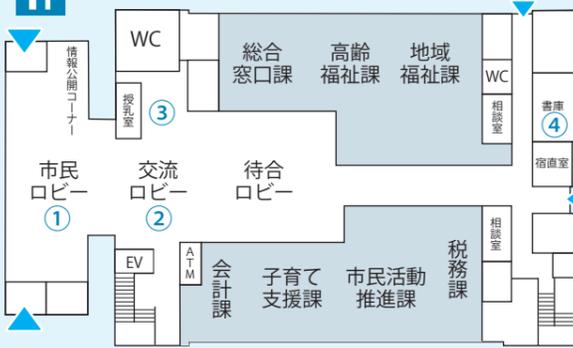
③乳児や子どもを連れた人も来庁しやすいように授乳室を設置

2F



②申請書支援システムが設置される記載台

1F



①木の温もりが感じられる開放的なエントランス

